

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 29 年度

市町村名	幸手市			
提案事業名	子育て世帯定住促進事業			
事業期間	29 年度	～	30 年度	
事業の必要性、目的	<p>当市は人口減が進む中、特に20歳～34歳の若い世代の流出が顕著となっている。特に女性の流出が多くなっている。転出の要因の一つとして、結婚や出産に伴い退職し、その後再就職を目指している女性に対する支援が不足していることが考えられる。このため、子育てと仕事の両立を目指す子育て世帯や主に女性の再就職に向けたセミナーを開催し、転出の抑制を図るとともに、市外、県外に幸手市の住みやすさをPRすることで、移住・定住の促進を図る。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 再就職セミナー、座談会、相談会に参加した者で再就職できた人数			
	(成果検証の具体的な方法) 再就職セミナー、座談会、相談会に参加した者から再就職に関する情報提供を求め、再就職できた人数を把握する。			
	(上記の指標を設定した理由) 本市からの転出の理由の多くが、結婚、出産、育児のための退職、転職にあることから、子育て世帯への再就職を支援することにあるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (28年1月現在)	0人	目標値 (31年1月時点)	7人
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページで公表する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成29年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 子育てファミリー就労支援・定住促進事業	結婚や出産に伴い退職し、その後再就職を目指している女性を対象として、再就職に向けたセミナーを開催することで、市内において就職に関する女性の希望を叶え、転出を抑制する。 都心部のファミリー世帯への定住促進PRとして、東京駅「移住・交流ガーデン」へのイベント出展及びイベントで使用する定住PR動画の作成、電車内の広告等を行い、幸手市の住みやすさを市外、県外にPRすることで、移住・定住の促進を図る	4,000
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
合計		4,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	再就職に向けたセミナーを定期的で開催することで、子育て世代の支援体制を構築し、幸手市に継続して住みたいと思ってもらうことで転出の抑制を図るほか、市外、県外に幸手市の魅力をPRし、移住の促進を図る。
----------------	--

成果指標の達成見込み	地域と行政が一体となって本事業を推進し、全事業を総体的に実施することにより、十分な成果を得られると判断した。
------------	--